

飯野ビルディング



所在地：東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
 建築面積：約4,600㎡
 延床面積：約104,000㎡
 構造・規模：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、地下5階、地上27階、塔屋2階
 建築主：飯野海運株式会社
 設計・施工：株式会社竹中工務店
 工期：平成21年3月～平成23年9月（I期竣工）
 ～平成26年11月（II期竣工予定）

S123

地球環境に配慮し、ダブルスキン外壁や自然換気システムなど自然エネルギーを利用可能とした省エネ化を実現。基準階オフィスフロアは全面採用しているLED照明により、従来の照明エネルギーの約半減が可能となっています。

環境に配慮し先進機能を備えた、将来の更新にも柔軟性の高い複合オフィスビル

“つなぐ”を設計コンセプトとした飯野ビルディングは、地上は隣接街区や日比谷公園からの連続に配慮し、地下では都営三田線「内幸町駅」や日比谷シティと直結する歩行者ネットワークの接点として誕生。東京メトロ「霞ヶ関駅」とも直結されるよう計画されています。

地下5階、地上27階建てのビルは、地下1階から地上1階が店舗、4階から6階がイノホールとカンファレンス、7階から27階がテナントオフィスフロアの構成となっています。

27階の飯野海運(株)のオフィスは、日本初の「LEED-CIプラチナ認証[®]」を取得されています。
※米国グリーンビルディング協会 (USGBC) によって開発・運営されている環境対応評価システム

オフィスフロアの全ての階にLEDベースライトシステム天井用器具を採用

オフィス基準階は4面採光、天井高さ3.0m、ワンフロア2,355㎡の無柱空間で、ダブルスキン外壁、自然換気システム、エコボイドなどにより自然エネルギーを利用可能とし、省エネルギーで快適なワークスペースを実現。

照明においては、7階から27階のテナントオフィスフロアにLEDベースライトグリッドシステム天井用器具（600mm×600mm）が約14,500台と照明制御システムが導入されています。このLEDベース照明は、600mm角照明器具面を9分割したパネルのコーナー部分4面にチップオンボード式のLEDモジュールを配し、下面にはドットプリントアクリルカバーを施して拡散光により眩しさを抑制しつつ、均一性の高い照度分布を得ています。

器具1台当たりの消費電力は40W、色温度は4000Kとなっており、3.6m×3.6mモジュールに4台設置を基準とし、平均照度700lxを確保しています。また、LEDベース照明の採用に加え、照明制御システムによる適正照度制御と昼光利用制御、人感センサーによる入室検知制御を行うことにより、一般的なシステム天井用ベース照明器具（FHP45W×2）に適正照度と昼光利用制御を導入する場合と比べて、照明によるエネルギー消費量を約半減することを可能にしつつ、事務作業をスムーズに遂行できる視環境が得られています。



基準階オフィスフロアに採用されたグリッドシステム天井用LEDベース照明器具を均等配置。昼光利用制御や人感センサーによる入室検知制御でムダな明るさをカットして適正照度を確保



600mm角照明器具面の9分割のうち4面にLEDモジュールを配置

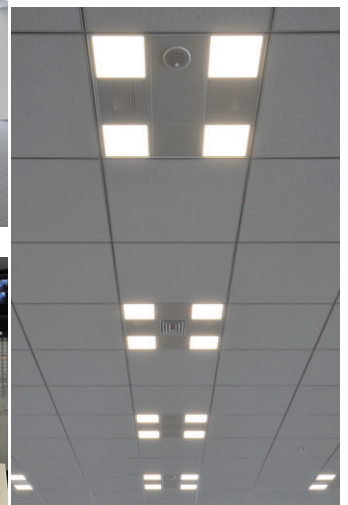
事務室内部から外周ゾーンを望むグリッドシステム天井用LEDベース照明



LEDダウンライト採用の女子化粧室



中央管理室の照明制御監視システム



格子状にセットしたグリッド天井はレイアウト変更にも照明などの移設が柔軟に対応可能

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
テナントオフィスフロア(7階～27階)	グリッドシステム天井用LEDベース照明	特注	約14,500	LED 消費電力:40W